

## ■第69回セメント技術大会を開催

(一社)セメント協会は、5月12日(火)から14日(木)までの3日間、ホテルメトロポリタン(東京・池袋)でセメント技術大会を開催した。本大会は1947(昭和22)年より開催しており、今年で69回目の開催となる。一般研究発表153件(昨年185件)のほか、宮川豊章特任教授(京都大学)による特別講演を行った。また、大会2日目には、セメント協会論文賞の表彰式ならびに受賞者による記念講演、懇談会を行った。大会期間中に770名(3日間の実数)の方に参加いただいた。講演要旨は、例年同様、印刷版・CD-ROM版を発刊した。

### 一般研究発表

講演内容を「セメント」「コンクリート」別にみると、「セメント」は「セメント、モルタルの性質

と物性」や「製造技術」で、また「コンクリート」は、「塩害・鋼材腐食」、「コンクリート舗装」、「凍結・融解」で多くの発表が行われ、各セッションとも活発な議論が行われた(表1)。

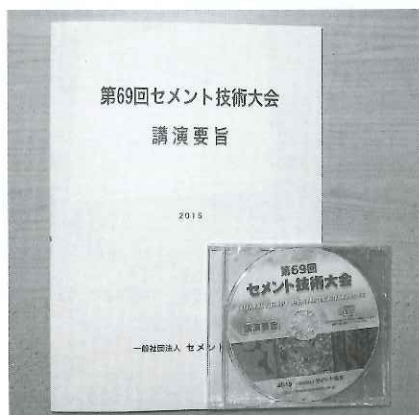
本大会は、若手発表者が多いことも特徴であり、講演者の約7割は20~30代の年齢層であった。また例年同様、若手研究者・技術者の研究奨励を目的に、

表1 講演分類と投稿件数

大分類	中分類	小分類	投稿件数
セメント	製造	原料	2
		製造技術	7
	クリンカー・鉱物		1
	種々のセメント	混合セメント	5
		混合材	3
	セメント系新材料		1
	セメント系固化材		5
	セメント系補修材		1
	セメントの水和		4
	セメント、モルタルの性質と物性		17
分析技術		6	
環境・リサイクル		3	
コンクリート	材料	化学混和剤	8
		骨材	5
	フレッシュコンクリート	流動性	1
		高流動コンクリート	2
	コンクリートの試験方法(含む分析技術)		3
	コンクリート製品		1
	コンクリートの施工		3
	コンクリート舗装		12
	特殊コンクリート	高強度コンクリート	1
		繊維補強コンクリート	2
		ポーラスコンクリート	5
		マスコンクリート・低発熱コンクリート	1
	物性	膨張	2
		収縮	2
		ひび割れ	4
	耐久性	塩害・鋼材腐食	14
		中性化	3
ASR		3	
化学的侵食・溶脱		7	
凍結融解		11	
コンクリートの診断・補修		6	
環境・リサイクル		2	
合計			153



大会ポスター



講演要旨集



一般研究発表会場



関根会長



坂井委員長

表2 第43回(2015年度)セメント協会論文賞

セメント硬化体の乾燥収縮および凍結融解作用による変形挙動に関する熱力学モデルの構築		
セメント・コンクリート論文集Vol.68 pp.426-433	北海道大学大学院	新 栞 雄 介
セメント・コンクリート論文集Vol.68 pp.442-449	北海道大学	栗 山 広 毅
	北海道大学大学院	堀 江 諒 春
		名 和 豊 春
粒子解析によるフライアッシュの反応性評価		
セメント・コンクリート論文集Vol.68 pp.61-67	太平洋セメント(株)	岸 森 智 佳
		扇 嘉 史 史
		細 川 佳 史
		平 尾 宙 宙
相組成がセメント系硬化体の空隙構造、電気的性質およびイオンの拡散・泳動に及ぼす影響		
セメント・コンクリート論文集Vol.67 pp.378-385	新潟大学	佐 伯 竜 彦
セメント・コンクリート論文集Vol.68 pp.352-359		斎 藤 豪 豪
セメント・コンクリート論文集Vol.68 pp.360-366	電力中央研究所	菊 地 道 生
	東京都下水道局	金 沢 貴 良
重金属添加方法の異なるセメントペースト内での重金属の捕集		
セメント・コンクリート論文集Vol.68 pp.375-381	広島大学大学院	林 明 彦
		小 川 由 布 子
		半 井 健 一 郎
		河 合 研 至

35歳以下の講演者を対象として「セメント技術大会優秀講演者賞」を授与する。「講演要旨のわかりやすさ」「発表内容」などの項目を司会者に評価いただいた採点表をもとに今後、セメント技術大会企画専門委員会にて選考し、本誌および当協会のウェブサイトでの公表を予定している。

#### 協会挨拶とセメント協会論文賞表彰式

表彰式に先立ち、関根福一会長(住友大阪セメント(株)取締役社長)より挨拶があった。挨拶では、「良質な社会インフラの整備に対してセメント産業の存在は必要不可欠であり、本大会がセメント・コンクリート技術者、研究者の方々にとって、今日的な課



受賞記念講演

題の解決と情報交換の場として有用な機会になることを期待したい」と強調した。



論文賞表彰式



論文賞受賞者の顔ぶれ

セメント協会論文賞は、当協会発刊のセメント・コンクリート論文集に掲載された、過去2年分の論文の中から最も優れた論文に授与しており、今年度は159編の中から4論文に授与された(表2)。選考を行った論文賞選考委員会の坂井悦郎委員長(東京工業大学大学院)より選考理由が紹介された後、関根会長より賞状ならびに副賞・賞牌が受賞者へ授与された。その後、受賞者による記念講演が行われた。

### 特別講演

大会2日目の午後の特別講演では、京都大学学際融合教育研究推進センターの宮川豊章特任教授より「コンクリート構造物を、造りこなし、使いこなす」と題し講演



特別講演・宮川特任教授



小野技術委員長代行

いただいた。約200名の聴講者が参集するなか、コンクリート構造物は、劣化程度をきちんと把握・診断した上で、補修・補強などの対策を施すことが重要で、「造ればそれで終わり」では決してない。コンクリート構造物を使いこなすためには、耐震性など力学的な分野ばかりでなく、塩害や膨張などについても様々な実験と解析が必要で、実験と解析という両輪があって初めて説得力のある結果となる、と説かれた。

### 懇談会

大会2日目の夕刻からは、講演者・司会者をはじめ関係者約220名の参加のもと懇談会を開催した。小野直樹技術委員長代行(三菱マテリアル(株) 常務取締役)の挨拶に続き、坂井悦郎論文賞選考委員長の乾杯で、開宴した。懇談会は、盛況かつ和やかな雰囲気の中進行し、会の盛り上がりを楽しみつつ、当協会 木村耕太郎専務理事の中締めの挨拶で閉会した。

[セメント協会 研究所 技術情報グループ]



懇談会